

令和元年度北区健康福祉課主要事業

(3月末現在実績)

基本目標 1 気づきあいと思いやりのある地域づくりを進めます。

基本方針 2 地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。

2 「児童虐待防止の啓発」(児童福祉係) . . . P.1

基本目標 2 助けあい、支えあう地域づくりを進めます。

基本方針 1 地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。

3 「地域包括ケアシステムの推進(モデルハウスの運営)」(高齢介護係) . . . P.3

基本方針 2 福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。

1 「地域包括ケアシステムの推進(支え合いのしくみづくり会議の開催)」

(高齢介護係) . . . P.4

基本目標 3 ふれあいと交流のできる地域づくりを進めます。

基本方針 1 みんなが参加できる交流の機会を増やします。

2 「ふゆっこまつり開催」(児童福祉係) . . . P.6

基本方針 2 みんなが集う楽しい居場所づくりを進めます。

2 「子育て応援カフェ」(児童福祉係) . . . P.7

基本目標 4 元気と活力にあふれる地域づくりを進めます。

基本方針 1 積極的な検診受診等により疾病の早期発見と予防に努め、健康寿命の延伸を図ります。

1 「各種がん検診の周知」(健康増進係) . . . P.8

2 「特定健康診査の受診率向上」(健康増進係) . . . P.9

5 「認知症予防(もの忘れ検診)事業」(健康増進係) . . . P.12

6 「介護予防のための専門職派遣事業」(高齢介護係) . . . P.14

7 「大学生による家庭介護セミナー」(高齢介護係) . . . P.16

基本方針 2 運動習慣の定着をはじめ、生活習慣の改善を進めます。

1 「はじめてのウォーキング講習会」(健康増進係) . . . P.17

2 「健康増進普及講習会」(健康増進係) . . . P.19

3 「生活習慣病予防教室」(健康増進係) . . . P.20

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 1	気づきあいと思いやりのある地域づくりを進めます。		
基本方針 2	地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。		
2	事業名	児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」	児童福祉係
事業概要	<p>[事業の目的] 児童虐待等の相談に対して関係職員等が迅速、的確に対応し、かつ関係機関の支援・連携が円滑に行われるよう、資質向上を図る。</p> <p>[事業内容] 開催日時 未定 会 場 未定 対 象 新潟市北区要保護児童対策地域協議会連絡会 構成機関職員等 北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、 子育て支援センター、保育園、幼稚園、児童館、小学校、 中学校、ひまわりクラブ、主任児童委員、北区健康福祉課</p> <p>内 容 ①講演（テーマ及び講師は未定） ②地区ごとに分かれての情報交換会</p>		
事業実績	<p>[要保護児童対策地域協議会について] 別紙参考資料 1 のとおり</p> <p>[事業の成果] 令和元年 12 月 9 日（月）開催 要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員 63 名出席</p>		

【別紙参考資料1】新潟市北区要保護児童対策地域協議会について

◆ 新潟市北区要保護児童対策地域協議会 実務者会議における進行管理ケース件数

主な内容	人 数				児童の年齢	人 数			
	H27	H28	H29	H30		H27	H28	H29	H30
身体的虐待	11	8	9	8	0歳～3歳未満	6	6	5	6
性的虐待	0	0	0	0	3歳～就学前	5	6	7	7
心理的虐待	10	9	9	9	小学生	14	13	9	9
ネグレクト	9	10	9	12	中学生	9	5	5	6
要支援家庭	7	7	6	5	高校生・その他	3	4	7	6
合 計	37	34	33	34	合 計	37	34	33	34

(※新規6件, 継続28件, 継続で年度内終結15件)

継続34件の中には児童から特定妊婦になったケースも含む)

◆ 新規で北区健康福祉課児童福祉係において受け付けた児童相談件数(延べ件数)

	H30	相 談 内 容
児童虐待相談	38	面前DVによる心理的虐待, 生活環境の不安定等
その他の養護相談	24	養育環境の問題や子どもへの対応について等
育成相談	14	不登校, 家庭内性暴力被害, 発達障がいに関する相談等
保健相談	1	児童の精神疾患に関する相談
合 計	77	

- ・虐待の通告経路では, 保育園, 学校, 保健師, 警察署, 基幹相談支援センター等, 様々な機関から情報が寄せられており, 各所属機関を通して丁寧な支援や協力がなされている。また地域の主任児童委員や障がいサービス関係機関も親身になって支援をしてくださっていることが北区の強みであり現状である。早い気づきの中で虐待通告やケース会議につなげ, 各関係機関が情報共有, 行動連携することで, 大事に至る前に支援方針を確認し, 実質的な支援体制をとることができるようになっている。

◆ 関係機関との連携

- 毎月「新潟市北区要保護児童対策地域協議会実務者会議」を開催し, ケースの支援状況報告と確認し, 必要に応じ情報交換を行っており, 日頃から連携を図っている。
(実務者会議構成機関)

新潟北警察署, 北区教育支援センター, 北区教育相談室, 児童相談所,
主任児童委員, 北地域保健福祉センター, 北区健康福祉課(協議会調整機関)など

- 年1回北区で研修会を開催している。(対象: 地区連絡会構成機関)

新潟北警察署, 北区教育相談室, 北区教育支援センター, 主任児童委員,
保育園, 幼稚園, 小学校, 中学校, ひまわりクラブ, 児童館など

◆ 今後の対応について

複数の支援関係者が集まって支援ケースの情報・アセスメントを共有し支援方針を検討する「個別ケース会議」の実施を通して, 具体的な支援の役割分担の元でケースの進行管理を行っていくことに注力していく。

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 1	地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。		
3	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (モデルハウスの運営)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 住民同士の支え合いのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。</p> <p>[事業内容] 北区地域包括ケア推進モデルハウス「松浜こらぼ家」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日 平成29年3月23日 ・開設場所 北区松浜本町2-13-7 ・運営団体 松浜こらぼ家運営委員会 代表 上松 鉄雄 ・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ティールーム … 月曜日から金曜日 午前10時から午後4時 利用料無料 (コーヒー100円) バザール (毎月2日)、いきいきこらぼ体操 (毎月第2水曜日) やさしい太極拳とよもやま話 (毎月第4月曜日) 作業療法士による生活相談 (平成29年7月から毎月1回) 保健師による健康相談 (平成29年4月から毎月1回) 		
事業実績	<p>[事業の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日及び時間 月曜日から金曜日 午前10時から午後4時 ・開設日数 (3月末) : 223日 ・利用者数 (3月末) : 延べ6,255人 1回あたり28.0人 <p>*60歳以上の方の利用が中心だが、中学生以下の利用者は168人。小中学生がまち歩きで立ち寄り利用あり。</p>		

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
1	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (支え合いのしくみづくり会議の開催)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 地域における支え合いのしくみづくり、支え合い活動の推進を図るため区域および日常生活圏域ごとに「支え合いのしくみづくり会議（協議体）」を設置し、コーディネーター役である支え合いしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）を配置する。</p> <p>[事業内容] 区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置 平成27年12月25日 ・構成団体 北区自治協議会、北区民生委員児童委員連絡協議会、北区老人クラブ連合会、北区豊栄地区コミュニティ協議会、北地区連合自治振興会、シルバー人材センター、JA新潟市、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、JA新潟厚生連豊栄病院、豊栄商工会、北新潟商工振興会、新潟医療福祉大学、にいがた北青年会議所、北区社会福祉協議会、北区健康福祉課 ・事務局 北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 北区社会福祉協議会 工藤 真美 <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置 「葛塚・木崎・早通圏域会議」 平成28年8月5日 「松浜・南浜・濁川圏域会議」 平成28年10月11日 「岡方・長浦圏域会議」 平成28年12月16日 ・構成団体 圏域内コミュニティ協議会、圏域内民生委員児童委員協議会、圏域内老人クラブ代表団体、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、地域包括支援センター、豊栄商工会、北新潟商工振興会、民間企業、医師会推薦者、北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 葛塚・木崎・早通圏域 北区社会福祉協議会 三浦美穂子 松浜・南浜・濁川圏域 愛宕福祉会 菅原 妙 岡方・長浦圏域 豊聖福祉会 本間 啓幸 		

事業実績	<p>[事業の成果]</p> <p>区域（第1層） 支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月2日 第2層協議体進捗状況報告 北区宅配・生活支援サービス冊子発行について ・ 3月11日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>日常生活圏域（第2層） 支え合いのしくみづくり会議</p> <p>「葛塚・木崎・早通圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月5日 各地区実施状況の共有、グループワーク （今後の取組みについて他） ・ 12月6日 支え合いのしくみづくり推進員選出、各地区実施状況 の共有 ・ 2月28日 各地区実施状況の共有、推進委員活動報告、今後の 協議体の運営方法について（グループワーク） <p>「松浜・南浜・濁川圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月8日 活動報告（講座開催、茶の間立上状況 他） 部会運営について（グループワーク） ・ 11月6日 北地区における活動共有、報告、検討 各部会の活動共有 <p>「岡方・長浦圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月26日 会議組織体制（居場所づくり、広報啓発グループの 2部会立ち上がり）、広報媒体の作成、居場所づくり の進捗状況について情報共有 ・ 7月31日 実施状況・課題の共有、グループワーク（居場所づ くり、広報啓発グループ） ・ 11月15日 実施状況・課題の共有、SNSの運用状況、グループ ワーク（居場所づくり、広報啓発グループ） ・ 3月4日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
------	---

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 3	ふれあいと交流のできる地域づくりを進めます。		
基本方針 1	みんなが参加できる交流の機会を増やします。		
2	事業名	ふゆっこまつり開催(区づくり事業 H29~R1) 「第 12 回北区ふゆっこまつり」	児童福祉係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外で遊べない冬の新潟で、親子で思い切り遊べる場を提供し、児童の健全育成と子育て支援の推進を図る。 ・ 事業を通し、子育て支援や児童健全育成に関わる個人・団体・ボランティアの交流・ネットワークを深め、地域で子育てを支え合う輪をつなぐ。 <p>[事業内容]</p> <p>主催 北区ふゆっこまつり実行委員会 主催者である実行委員は、区政推進のために「第 1 回ふゆっこまつり」の立ち上げから携わっている有志区民と、下記後援団体からの代表者と、新潟医療福祉大学職員及び学生で構成されている。</p> <p>共催 新潟医療福祉大学</p> <p>後援 新潟市北区各コミュニティ協議会、 新潟市北区各青少年育成協議会、 新潟太陽福祉会、とよさか福祉会、新潟市北区社会福祉協議会、 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター 総合型地域スポーツクラブ ハピスカとよさか、新潟市開発公社 北新潟商工振興会、豊栄商工会、にいがた北青年会議所、 北区小中学校 P T A 連合会、新潟市教育委員会</p> <p>日時 令和 2 年 2 月 2 3 日 (日) 午前 1 0 時～午後 3 時</p> <p>会場 新潟医療福祉大学 (新潟市北区島見町 1398 番地) ※H29 年度～</p> <p>対象 主に乳幼児から小学校低学年くらいまでの親子</p> <p>内容 ゲーム・工作コーナー 福祉作業所などによるバザー・飲食コーナー 親子遊びコーナー チラシプール、風船プール 等</p>		
事業実績	新型コロナウイルス感染拡大を受け、参加者の安全に配慮し中止を決定。		

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 3	ふれあいと交流のできる地域づくりを進めます。		
基本方針 2	みんなが集う楽しい居場所づくりを進めます。		
2	事業名	子育て応援カフェ（区づくり事業 H29~31） 「早通健康福祉会館 ベビーカフェぴよぴよ」	児童福祉係
事業概要	<p>[事業の目的] 地域の子育て中の親子を対象に、カフェを開催し、交流の機会を提供することで、地域での子育ての支え合いを効果的に促進する。 専門職や講師などによる支援・講座とは、あえてリンクさせず地域の拠点にカフェを設定し、利用者とカフェスタッフ（地域住民）とが、相談・援助関係を持たないフラットな関係で、気兼ねなく利用できるようなことで、地域の中での交流の促進と定着を目指す。</p> <p>[事業内容] ○早通健康福祉会館運営委員会が事業実施 ○カフェスタッフは早通健康福祉会館の運営に協力している地域住民 対象者：主に地域に住む未就園児とその保護者 内 容：ベビー用のマットと遊具はあるが、固定プログラムなしで子どもも自由に遊べる。 保護者は、好きなお茶を飲みながら他の親子やカフェスタッフ（地域住民）と自由に交流できる。 申し込み不要・参加費は茶菓子代として親子1組 100 円</p> <p>場 所：早通健康福祉会館 2 階 開催日：月 1 回 月曜日開催（8 月を除く） 時 間：10:00~11:30 開催目標回数：11 回</p>		
事業実績	<p>モデル事業として、「早通健康福祉会館」を会場に、未就園児と保護者の地域の中の居場所として「ベビーカフェぴよぴよ」を年間で 10 回実施した。</p> <p>4 月 22 日 参加者 26 名(大人 11 名) 5 月 27 日 参加者 30 名(大人 13 名) 6 月 24 日 参加者 13 名(大人 5 名) 7 月 8 日 参加者 22 名(大人 9 名) 9 月 30 日 参加者 11 名(大人 4 名) 10 月 28 日 参加者 15 名(大人 6 名) 11 月 18 日 参加者 13 名(大人 5 名) 12 月 16 日 参加者 4 名(大人 2 名) 1 月 27 日 参加者 11 名(大人 4 名) 2 月 17 日 参加者 8 名(大人 3 名) 3 月 16 日 中止（新型コロナウイルスの感染拡大防止の為）</p>		

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元氣と活力にあふれる地域づくりを進めます。		
基本方針 1	積極的な検診受診等により疾病の早期発見と予防に努め、健康寿命の延伸を図ります。		
1	事業名	各種がん検診の周知	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] がん検診受診率の向上を図るため、区内の医療機関や事業所等と連携し、啓発活動を進めるとともに、「区役所だより」・「コミ協だより」への掲載、検診カレンダーの全戸配布などを行い、検診の周知を図る。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広報用ポスター・チラシ作成し、調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ②検診カレンダー全戸配布 ③区だより掲載 年8回 ④コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤検診開催時P R ⑥健康教育や地域保健活動でP R ⑦公用車にがん検診受診推進P Rポスターを添付する ⑧松浜地区へ回覧板で周知 		
	事業実績	<p>[事業成果・実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広報用ポスター・チラシ作成し、調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ②検診カレンダー全戸配布 ③区だより掲載 年9回 ④コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤検診開催時P R ⑥健康教育や地域保健活動でP R ⑦公用車にがん検診受診推進P Rポスターを添付する ⑧松浜地区へ回覧板で周知 	

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元気と活力にあふれる地域づくりを進めます。		
基本方針 1	積極的な検診受診等により疾病の早期発見と予防に努め、健康寿命の延伸を図ります。		
2	事業名	特定健康診査の受診率向上	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 健康寿命の延伸および生活習慣病予防のため、特定健診の受診者数を増加させる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 新規国保加入者への電話による受診勧奨 対象者：令和元年5月受診券送付者の内、国保加入者の60～65歳。</p> <p>② 業者委託による電話による受診勧奨 対象者：平成30年度、令和元年度連続未受診者のうち受診率の低い概ね50歳台を中心。</p> <p>③ ミニドック型集団健診の実施 実施内容：特定健診のみ受診、またはオプションで各種がん検診（肺、胃、大腸、前立腺、乳）、ピロリ菌検査、肝炎ウイルス検査を選択できるものとする。 対象者：以下のいずれも該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診日当日に新潟市国民健康保険に加入している ・令和2年3月31日現在の年齢が41歳から74歳 ・平成30年4月1日以降、国保加入者対象の特定健診未受診 <p>日 程：午前 会 場：3会場 定 員：130人×3回＝390人 周知方法：対象者の内、41～74歳の人へ案内チラシを郵送する。 (令和元年7月5日㊦連合会請求受付分までを受診済とする)</p>		

2	事業名	特定健康診査の受診率向上	健康増進係	
事業実績	[事業の成果]			
	① 新規国保加入者への電話による受診勧奨			
	・ 昼間 2 回、夜間 1 回の最低 3 回架電			
	結果	受診 済み	予約 済み	受診 了承
		受診 検討	受診 拒否	留守電 等
		その他	番号 不明	計
	件数	2	2	27
		4	13	4
		16	29	97
	構成比	2.1%	2.1%	27.8%
	4.1%	13.3%	4.1%	
	16.5%	30.0%	100%	
※ 通話可能者 68 人中、2 月 5 日〆連合会請求受付分データにより 25 人の受診を確認。				
② 業者委託による電話による受診勧奨				
・ 平日夜間および土日の最低 3 回架電。				
・ ミニドック勧奨も合わせて実施。				
表 1 架電結果		表 2 受診拒否の理由		
結果項目	件数	構成比	理由	
受診済み	122	7.1%	世帯数 ※1	
受診了承	101	5.9%	構成比	
受診検討	322	18.8%	医療機関に入通院	
受診拒否	404	23.6%	251	
架電拒否	8	0.5%	67.7%	
案内済み	125	7.3%	面倒	
その他	18	1.0%	25	
トーカー不在等	614	35.8%	時間が取れない	
計	1,714	100%	28	
			必要性を感じない	
			健康状態に自信	
			その他	
			30	
			8.1%	
			計	
			371	
			100%	
※1 受信拒否理由は世帯での集計				
※2 2 月 5 日〆連合会請求受付分データにより 128 人の受診を確認。				
③ ミニドック型集団健診の実施				
特定健診 対象者数	ミニドック 案内発送数	受診数	案内者に対する受診率	
13,543 人	6,886 人	273 人	4.0%	
			ミニドックで 増加する受診率	
			2.0%	
日時/会場			受診者数(定員充足率)	
11 月 16 日(土)	午前	北地区コミュニティセンター	80 人	
			(61.5%)	
11 月 17 日(日)	午前	豊栄健康センター	73 人	
			(56.2%)	
11 月 18 日(月)	午前	豊栄健康センター	120 人	
			(92.3%)	

2	事業名	特定健康診査の受診率向上				健康増進係																																			
事業実績	<p>[課題と今後の方向性]</p> <p>① 新規国保加入者に対し、受診方法について丁寧に説明する必要があることから継続実施する。</p> <p>② 業者委託による受診勧奨では 64.2%に勧奨や状況確認ができ、ミニドックの受診にもつながっているため継続実施する。</p> <p>③ ミニドック型集団健診は、一度に健診を受けられる利点があり、案内が届くことで受診行動につながり、受診率向上に効果があるため継続実施する。</p>																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">H30 年度</th> <th colspan="2">H29 年度</th> </tr> <tr> <th>市全体</th> <th>北区</th> <th>市全体</th> <th>北区</th> <th>市全体</th> <th>北区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数(人)</td> <td>132,911</td> <td>13,543</td> <td>136,953</td> <td>14,007</td> <td>140,490</td> <td>14,305</td> </tr> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>39,024</td> <td>3,691</td> <td>48,597</td> <td>4,754</td> <td>49,047</td> <td>4,799</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>29.36%</td> <td>27.25%</td> <td>35.48% (27.65%)</td> <td>33.94% (27.51%)</td> <td>34.91% (27.65%)</td> <td>33.55% (27.49%)</td> </tr> </tbody> </table>								令和元年度		H30 年度		H29 年度		市全体	北区	市全体	北区	市全体	北区	対象者数(人)	132,911	13,543	136,953	14,007	140,490	14,305	受診者数(人)	39,024	3,691	48,597	4,754	49,047	4,799	受診率	29.36%	27.25%	35.48% (27.65%)	33.94% (27.51%)	34.91% (27.65%)	33.55% (27.49%)
		令和元年度		H30 年度		H29 年度																																			
		市全体	北区	市全体	北区	市全体	北区																																		
	対象者数(人)	132,911	13,543	136,953	14,007	140,490	14,305																																		
受診者数(人)	39,024	3,691	48,597	4,754	49,047	4,799																																			
受診率	29.36%	27.25%	35.48% (27.65%)	33.94% (27.51%)	34.91% (27.65%)	33.55% (27.49%)																																			
<p>※令和元年度は、令和 2 年 2 月 5 日までに国保連合会を經由し医療機関から提出された数。() 内は各年度の同時期 2 月 5 日時点での受診率。</p>																																									

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元気と活力にあふれる地域づくりを進めます。										
基本方針 1	積極的な検診受診等により疾病の早期発見と予防に努め、健康寿命の延伸を図ります。										
5	事業名	認知症予防（もの忘れ検診）事業 （区づくり事業 H29～R1）	健康増進係								
事業概要	<p>[事業の目的] 認知機能の低下している高齢者を早期に発見し、認知症への移行を防ぐとともに、認知症の進行を遅らせるため、適切な治療・サービスにつなげる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 北区もの忘れ検診の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>北区に住民票がある平成 31 年度 65 歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人</td> </tr> <tr> <td>実施医療機関</td> <td>北区内の 13 医療機関 （松浜地区で H31～新規実施 1 医療機関追加）</td> </tr> <tr> <td>検診内容</td> <td>簡単な質問による検査（3 項目）を特定健診・後期高齢者健診時に実施。</td> </tr> <tr> <td>精密検査</td> <td>もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。</td> </tr> </table> <p>② 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 月に検診カレンダーに併せ、もの忘れ検診チラシを全戸配布。 ・チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布。 ・5 月の区だよりに掲載。 <p>③ 検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 か年の実施を踏まえ、令和 2 年度からの継続実施について、医師会、協力医療機関、地域包括支援センターなど関係機関と協議する。 <p>④ 各地区でのリーダー研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の発症や重症化予防のため、住み慣れた地域で継続したフォローを住民主体で行えるよう、日中高齢者が集まる場所やサロン等で認知症予防の普及啓発とリーダーの養成を行う。 			対象者	北区に住民票がある平成 31 年度 65 歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人	実施医療機関	北区内の 13 医療機関 （松浜地区で H31～新規実施 1 医療機関追加）	検診内容	簡単な質問による検査（3 項目）を特定健診・後期高齢者健診時に実施。	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。
	対象者	北区に住民票がある平成 31 年度 65 歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人									
	実施医療機関	北区内の 13 医療機関 （松浜地区で H31～新規実施 1 医療機関追加）									
	検診内容	簡単な質問による検査（3 項目）を特定健診・後期高齢者健診時に実施。									
	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。									

[事業の成果]

① もの忘れ検診実施状況

一次受診者	合計	構成比
合計	1,150	100.0%
異常なし	1,131	98.4%
要経過観察	7	0.6%
要精密検査	12	1.0%

⇒ 要精密検査 12 人の内、精密医療機関で診断がついた方は 9 人
(MCI : 4 人、アルツハイマー型認知症 : 5 人)

※要経過観察・要精密検査 19 人全員に地域包括支援センター等が
関わり、必要に応じて地域のサービス利用へつながっている。

事業
実績

② 啓発活動

- ・ 4 月に検診カレンダーに併せ、もの忘れ検診チラシを全戸配布した。
- ・ チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布した。
- ・ 5 月の区だより「認知症の特集」で掲載。

③ 検討会の開催

- ・ 7 月 12 日(金)、2 月 3 日(月)医師会班会議で平成 29～令和元年度
実施状況を報告。
- ・ 6 月 17 日(月)、1 月 21 日(火)医師会代表担当医師と検討会実施。
令和 2 年度の検診実施について検討した。

④ 地域での認知症予防活動について

- ・ 認知症の発症や重症化予防のため、日中高齢者が集まる場所やサロン
等に、運動普及推進委員と共に出向き運動や脳トレを実施。7 回実施

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元氣と活力にあふれる地域づくりを進めます。		
基本方針 1	積極的な健診受診等により疾病の早期発見と予防に努め、健康寿命の延伸を図ります。		
6	事業名	介護予防のための専門職派遣事業 (区づくり事業 H30~R2)	高齢介護係
事業概要	<p>【事業の目的】 介護予防の知識と方法を提供することで、自ら介護予防に取り組むことができる高齢者を増やし、健康で暮らせるまちづくりを推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の手段 高齢者が集まる場所やコミュニティセンターなどへ、リハビリテーション等に関する専門的知見を有する者を派遣し、介護予防に関する健康講座を開催する。 ○ 期待される事業効果 介護予防に取り組む高齢者が増加し、健康寿命の延伸と要介護・要支援認定者数の増加抑制に寄与する。 ○ 事業の計画内容 <p>【派遣先】 高齢者が集まる場所や通う場所（コミュニティセンター、地域の茶の間、老人福祉センター、老人憩の家、老人クラブなど）</p> <p>【派遣方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記派遣先の中から、受け入れ可能な場所へ派遣する。 ・ 専門職派遣回数 は年 50 回を予定 ・ 専門職は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、歯科衛生士など ・ 講師派遣について、新潟リハビリテーション病院や各種職能団体に依頼 <p>【健康講座の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転倒予防や筋力・体力増強 ・ 摂食・嚥下体操 ・ 骨粗鬆症予防 など 		

事業実績	<p>[事業の実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講座開催数 61 回 ○ 講座参加者数 1,101 人 (18.0 人／回) ○ 派遣職種 理学療法士 23 回 作業療法士 13 回 言語聴覚士 2 回 栄養士 20 回 歯科衛生士 3 回
------	--

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元気と活力にあふれる地域づくりを進めます。		
基本方針 1	介護の基本的知識やスキルを身に付け、理解を深めていただくとともに、大学生と地域住民との交流を深めます。		
7	事業名	大学生による家庭介護セミナー (区づくり事業 [自治協提案事業])	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 介護について学んでいる新潟医療福祉大学の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、介護の基本的知識やスキルを身に付けてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の手段 北区内のコミュニティセンター等を会場に、学生を講師とした介護技術の習得等に関するセミナーの企画・運営・実施を行う。 ○ 期待される事業効果 介護知識・技術を身に付けた人が増加し、健康寿命の延伸と要介護・要支援認定者数の増加抑制に寄与する。 ○ 事業の計画内容 <p>【対象】 北区で家族の介護をしている人、介護に関心のある人</p> <p>【セミナーの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が作成するテキスト等による、介護の基本的知識や技術説明 ・ 学生とセミナー参加者との交流 		
事業実績	<p>[事業の実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講座開催数 第1回 10人 第2回 6人 第3回 14人 		

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元氣と活力にあふれる地域づくりを進めます。																																																				
基本方針 2	運動習慣の定着をはじめ、生活習慣の改善を進めます。																																																				
1	事業名	はじめてのウオーキング講習会	健康増進係																																																		
事業概要	<p>[事業の目的] 運動習慣や運動の機会のない方に、運動を始めるきっかけをつくり、運動習慣を身につけ、生活習慣病の予防を図る。 ・ウオーキングの正しい実践方法を習得し、講習会終了後も安全で効果的なウオーキングを継続できるように支援する。 ・継続して地域のスポーツセンターを利用し、運動習慣の定着を図る。</p> <p>[事業内容] 会場：豊栄総合体育館・北地区スポーツセンター 日程：3回2コース（5月，9月） 対象：運動習慣、機会がない人、これから運動を始めようと考えている人（医師の運動制限のない人）30名 内容：講義、運動実技（ウオーキング、ストレッチ、靴の履き方など） 講師：体育館・スポーツセンター職員</p>																																																				
	<p>[事業の成果] 延 60 人参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>豊栄地域</th> <th>北地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場</td> <td>豊栄総合体育館</td> <td>北地区スポーツセンター</td> </tr> <tr> <td>日程</td> <td>5月24・31日，6月7日</td> <td>9月6・13・27日</td> </tr> <tr> <td>屋外ウオーキング実技実施回数</td> <td>1回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>12人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>男女内訳</td> <td>男2，女10</td> <td>男3，女15</td> </tr> <tr> <td>年代内訳</td> <td>40代1，50代1，60代7，70代3</td> <td>50代1，60代7，70代9，80代1</td> </tr> <tr> <td>平均年齢</td> <td>65.5歳</td> <td>69.9歳</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>延べ28人 77.8%</td> <td>延べ42人 77.8%</td> </tr> <tr> <td>運動習慣あり</td> <td>7人 (53.9%)</td> <td>7人 (38.9%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンケート結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>豊栄地域</th> <th>北地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウオーキング方法</td> <td>よくわかった・わかった 100%</td> <td>よくわかった・わかった 83% 無回答1名</td> </tr> <tr> <td>講義と実技の割合</td> <td>ちょうどいい 100%</td> <td>ちょうどいい 66.7% 実技多い希望 33.3%</td> </tr> <tr> <td>講座回数(3回)</td> <td>ちょうどいい 62.5% 少ない 37.5%</td> <td>ちょうどいい 66.7% 少ない 33.3%</td> </tr> <tr> <td>家庭での実施</td> <td>実施 75%</td> <td>実施 83%</td> </tr> <tr> <td>運動回数変化</td> <td>変わらない 50% 増えた 50%</td> <td>変わらない 33.3% 増えた 58.3% 無回答1名</td> </tr> <tr> <td>運動継続意思</td> <td>継続 100%</td> <td>継続 100%</td> </tr> </tbody> </table>				豊栄地域	北地域	会場	豊栄総合体育館	北地区スポーツセンター	日程	5月24・31日，6月7日	9月6・13・27日	屋外ウオーキング実技実施回数	1回	3回	参加者数	12人	18人	男女内訳	男2，女10	男3，女15	年代内訳	40代1，50代1，60代7，70代3	50代1，60代7，70代9，80代1	平均年齢	65.5歳	69.9歳	出席率	延べ28人 77.8%	延べ42人 77.8%	運動習慣あり	7人 (53.9%)	7人 (38.9%)		豊栄地域	北地域	ウオーキング方法	よくわかった・わかった 100%	よくわかった・わかった 83% 無回答1名	講義と実技の割合	ちょうどいい 100%	ちょうどいい 66.7% 実技多い希望 33.3%	講座回数(3回)	ちょうどいい 62.5% 少ない 37.5%	ちょうどいい 66.7% 少ない 33.3%	家庭での実施	実施 75%	実施 83%	運動回数変化	変わらない 50% 増えた 50%	変わらない 33.3% 増えた 58.3% 無回答1名	運動継続意思	継続 100%
	豊栄地域	北地域																																																			
会場	豊栄総合体育館	北地区スポーツセンター																																																			
日程	5月24・31日，6月7日	9月6・13・27日																																																			
屋外ウオーキング実技実施回数	1回	3回																																																			
参加者数	12人	18人																																																			
男女内訳	男2，女10	男3，女15																																																			
年代内訳	40代1，50代1，60代7，70代3	50代1，60代7，70代9，80代1																																																			
平均年齢	65.5歳	69.9歳																																																			
出席率	延べ28人 77.8%	延べ42人 77.8%																																																			
運動習慣あり	7人 (53.9%)	7人 (38.9%)																																																			
	豊栄地域	北地域																																																			
ウオーキング方法	よくわかった・わかった 100%	よくわかった・わかった 83% 無回答1名																																																			
講義と実技の割合	ちょうどいい 100%	ちょうどいい 66.7% 実技多い希望 33.3%																																																			
講座回数(3回)	ちょうどいい 62.5% 少ない 37.5%	ちょうどいい 66.7% 少ない 33.3%																																																			
家庭での実施	実施 75%	実施 83%																																																			
運動回数変化	変わらない 50% 増えた 50%	変わらない 33.3% 増えた 58.3% 無回答1名																																																			
運動継続意思	継続 100%	継続 100%																																																			
事業実績																																																					

[課題と今後の方針]

- ・本来対象としている運動習慣がない方の参加が少なかった。事業周知を工夫し、より多くの区民の参加を促す。
- ・体育施設で開催することで、講習会終了後も、同じ体育施設利用しての運動につながりやすい。両体育施設と協働し、区民が運動を継続できるよう引続き支援していく。

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元気と活力にあふれる地域づくりを進めます。		
基本方針 2	運動習慣の定着をはじめ、生活習慣の改善を進めます。		
2	事業名	健康増進普及講習会	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 生活習慣病の一次予防を目的として、運動、栄養、休養等の生活習慣を柱に健康づくりを啓発普及するとともに、市民の健康づくりの定着を図るため、新潟市食生活推進協議会と共催し、地域のニーズを反映したテーマで講習会を実施する。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 6月～10月 11回 ・会場 区内のコミュニティーセンターなど ・対象 一般市民 ・内容 保健師、管理栄養士による講話 簡単な体操、レクリエーション等 調理実習および試食 ・周知 「区役所だより」、各地区広報誌等 		
事業実績	<p>[事業成果・実績] ちよいしおをテーマに、「豆腐を使ったメニュー」「野菜たっぷりメニュー」の2種類で講習会を実施。 実施回数：11回 参加者：計209名</p> <p>アンケート結果（一部）※回収率97%</p> <p>○また参加したいと思うか 参加したい 78.5% 誘われたら参加したい 21.5% 参加したくない 0%</p> <p>○家庭で普及講習会メニューを作ったことがあるか （過去に参加したことがあると回答した人のみ） ある 94.3% ない 5.7%</p> <p>[課題と今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、全市統一回数となり各区10回実施予定。 ・講習会参加者の3/4は複数回参加者。より多くの区民に参加を促し、健康づくりに役立ててもらえるよう事業周知を工夫する。 		

令和元年度北区健康福祉課主要事業

基本目標 4	元気と活力にあふれる地域づくりを進めます。		
基本方針 2	運動習慣の定着をはじめ、生活習慣の改善を進めます。		
3	事業名	生活習慣病予防教室（血压元気塾）	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 脳血管疾患・高血圧重症化予防を重点とし、生活習慣病予防の知識普及、生活行動の改善・実施を目的とする。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：公開講座 1 回を含む 2 回コース型を 1 回実施。 4 回コース型+フォローアップ講座を 1 回実施。 ・開催日：6 月～1 月 ・会場：北地区公民館，豊栄健康センター ・対象、定員 公開講座（50 名）：おおむね 40 歳以上で高血圧予防に関心のある者 コース（25 名）：平成 30 年度特定健診受診者で下記の条件にあう者 <ul style="list-style-type: none"> ① 70 歳未満 ② 収縮期血圧 140mmHg 以上または拡張期血圧 90mmHg 以上（受診勧奨値）の者 ・内容 2 回コース：1 回目 医師の講話（公開講座）、栄養士の講話 2 回目 保健師の講話，尿検査結果の説明 4 回コース：1～4 回目 保健指導、運動指導、食事指導（試食実施予定）、各回グループワーク、歩数計を配布、毎回生活習慣記録票を配布・回収、毎回血圧測定し健康チェック表記入、食事記録記入 フォローアップ講座：保健指導、運動指導，グループワーク ※参加者に尿検査を実施（公開講座、コース 1、4 回目、フォローアップ講座） ・周知 上記コース対象者へ案内の個別通知，チラシを保健センターなどに設置、区役所だよりやコミセン便り，ホームページなどに掲載、地区活動で PR 		

3	事業名	生活習慣病予防教室（血压元気塾）	健康増進係
事業実績	<p>[事業の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 【北地区公民館】 2回コース 78名（出席率 95.1%） 【豊栄健康センター】 4回コース+フォローアップ講座 延べ 66名（出席率 88.0%） <u>合計延べ 144名</u> ・尿検査による推定食塩摂取量変化（【豊】 4回コースのみ） 13名中 7名（53.8%）がコース実施前後を比較し食塩摂取量減少。 ・尿検査による推定カリウム摂取量変化（【豊】 4回コースのみ） 13名中 9名(69.2%)コース実施前後を比較し推定カリウム摂取量増加。 ・【北地区公民館】 2回コース 70代の参加が最も多かった。チラシを見たことによる参加が多かった。個別案内は 115名に行ったが、参加につながったのはうち 6名であった ・【豊栄健康センター】 4回コース+フォロー 60代の参加が最も多かった。個別案内による参加が多かった。個別案内は 348名に行ったが、参加につながったのは 11名であった。 ・2回コース、4回コースとも、アンケートでは「減塩や運動習慣の定着に努めたい」といった前向きな意見が多く、効果はあったと考えられる。 <p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は公開講座1回とフォローアップ講座1回を含む4回コースを実施する（公開講座のみの定員を30名、コース定員を25名とする ※公開講座の定員は計55名） ・尿検査（尿中塩分測定）を引き続き実施する。（1回目（公開講座）、3回目、4回目（フォローアップ講座）） 		